

歴史同好会は昨年一年間、講師を招聘し座学で相模原市の歴史を新石器時代から幕末にかけて駆け足で勉強、今年はその知識を基に各地を探索する予定。第一回として戦国北条氏の津久井城址を視察した。

日時：平成31年4月17日(水) 午前9時(JR 橋本駅集合)～午後4時(現地解散)



津久井湖観光センター前の城山登山口から、県立津久井湖城山公園の野口副園長に同行して頂き、ご案内とご説明を受けた。

津久井城址は長年発掘調査されているが、埋め戻してしまふ為、外見ではなにも分からない。専門家の説明を受けてはじめてその概要が理解できる。



津久井城址と登山ルート図

県立津久井湖城山パークセンター発行「城山散策絵図」より抜粋:

転載承認受済

荒川登山道経由で鷹射場、宝ヶ池、飯縄神社、本城曲輪を視察。山頂には江戸時代に建立された「築井古城記碑」があり、津久井城の存在を後世に伝えている。

かなり険しい山道で、途中にはクサリ場が3ヶ所も。堀切や豎堀が多く、津久井城がいかに堅牢な守りの城であったのかが理解できる。



山頂に建つ「築井古城記碑」

江戸時代に5万両(現在の約5億円)という大金を使って建立されたという。

建立した島崎家はそれが基で破産。それまでもして戦国時代の元領主の記録を残したかったのはなぜ? 歴史ロマンの謎と、その奥深さは計り知れない。



麓のパークセンターで座学

城山の地形、歴史、自然について全体的な講義を受けた。

城山は自然が保全され、昆虫、爬虫類が多く生息し、ムササビは有名な高尾山よりも多いとの事。

パークセンターでは津久井の歴史、自然、特産品などが、3ヵ所外だがわかり易く展示されている。

城山の麓を囲むように建設されている遊歩道は自然に優しくバリアフリー設計で、車椅子でもOK。ここは歴史探索に加え、自然観察、そしてウォーキングに、これからも何度も訪れたい公園である。

ご案内の野口副園長にお礼申し上げます。ありがとうございました。

ここから徒歩20分で、江戸時代創業の久保田酒造がある。見学は事前予約が必要。

次回の歴史探索報告をお楽しみに。